

# おおたま

2025

No. 137

令和7年5月発行



# 令和7年度事業

## 力強い産業の復興・創生

# 3月定例会開催



### 農業の振興

大玉村産米のブランド化 1,137万円  
 農業振興公社支援事業補助金 370万円  
 堆肥センターの運営 1,539万円  
 中山間地域等直接支払制度に要する経費 4,939万円



### 林業の振興

広葉樹林再生事業 4,062万円  
 遠藤ヶ滝遊歩道整備工事 1,324万円



### 商工観光の振興

創業者空き店舗等活用支援 250万円  
 夏まつり実行委員会補助金 808万円

## みんなで支える 安心生活



### 健康長寿の推進

高齢者エアコン購入費補助金 20万円 高齢者健康管理事業委託料 300万円  
 TAMAZAP(タマザップ) 110万円 予防接種委託料 3,000万円



### 地域防災

消防屯所建築工事 7,000万円  
 自主防災組織活動支援事業補助金 50万円



### 国内外交流

台湾交流事業 979万円  
 野内与吉顕彰プレート除幕式関連費用 1,300万円

3月定例会は、4日から17日までの14日間の会期で開かれました。  
 内容は、村長提出案件44件(専決処分1件、条例制定2件、条例廃止1件、条例改正22件)、補正予算5件、令和7年度一般会計等当初予算8件、人事案件3件、指定管理者の指定2件)および議員発議3件、合わせて47件が提出され、審議した結果、原案のとおり可決しました。なお、請願は2件、陳情は1件提出され、審査の結果は10ページのとおりです。

自然を生かした **快適な暮らし**

**議会が注目する**

### スマートインターチェンジの整備促進

### 交通安全対策、防犯事業

防犯カメラ等設置補助金 50万円  
交通安全対策 235万円

### 公共交通

通勤通学バス運行事業 435万円  
デマンド型乗合タクシー事業 1,901万円

### 夢を育てる **教育・子育て**

### 子ども・子育て支援

(仮称)子育て支援センターに要する経費 1億3,250万円  
学校給食費補助金 6,590万円

### 合併70周年記念事業

合併70周年記念式典 673万円  
民俗芸能大会補助金 30万円

### 教育環境の整備

玉井小・大玉中照明LED化工事設計業務委託 1,701万円  
大山小駐車場整備工事 3,000万円

### 地域ぐるみの学び・スポーツの村づくり

総合型地域スポーツクラブに要する経費 149万円  
プール・テニスコートの管理運営 2,440万円

令和7年度

前年度比12.0%↑  
一般会計

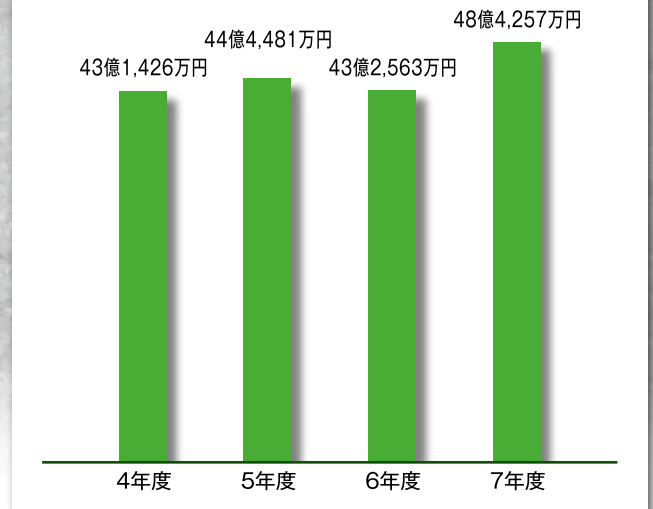
48億4,257万円



令和7年度 予算額

会計名	予算額	
一般会計	48億4,257万円	
国民健康保険特別会計	8億3,293万円	
玉井財産区特別会計	533万円	
土地取得特別会計	30万円	
介護保険特別会計	8億8,897万円	
後期高齢者医療特別会計	9,535万円	
水道事業会計	(収益的支出)	1億7,012万円
	(資本的支出)	1億8,769万円
農業集落排水事業会計	(収益的支出)	1億3,371万円
	(資本的支出)	9,218万円

一般会計予算の推移



分科会の質疑と予算審査特別委員会の審査意見は5ページから7ページです。

3/17

本会議

- 予算審査特別委員会の審査結果報告
- 議案審議

3/14

予算審査特別委員会

- 分科会の審査報告
- 予算審査特別委員会の審査結果を集約

3/11~

総務文教分科会  
産業厚生分科会

- 予算審査

3/10

予算審査特別委員会

- 総務文教分科会・産業厚生分科会の2分科会を設置

本会議

- 総括質疑
- 予算審査特別委員会設置

3/4

本会議

- 議案の一括上程
- 提案理由の説明

当初予算は、次のように議会で審議します。

当初予算が  
決まるまで!!

# 新年度予算を問う

## 分科会質疑

ピックアップ

分科会では、村政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつか紹介します。

### 総務文教分科会



総務課

## 大玉村合併70周年

**問** 70周年記念事業の内容は。

**答** 6月28日（土）に合併70周年記念式典を行う。また、70周年記念の冠を付けた事業を行う団体の申請に対し助成金を交付する。

政策推進課

## マチュピチュ村友好都市締結協定10周年

**問** 10周年記念事業の内容は。

**答** 10月26日（日）にマチュピチュ村で野内与吉氏を顕彰するプレートの除幕式を行い、両村の交流をさらに深める予定である。



教育総務課

## 適応指導教室

**問** 実施回数と居場所づくりは。

**答** 大山公民館で週に3回開設しているほか、中学校の教室を利用して数回実施している。居場所づくりも兼ねて、曜日を固定せずに、大山公民館や中学校で実施する日を週1回増やす予定である。

## 幼稚園の弁当給食

**問** 幼稚園の弁当給食に向けた取り組みは。

**答** 4月の参観日に、園児と保護者を対象に弁当給食の試食会を行う。保護者の意見を聞きながら、10月の実施に向けて取り組んでいきたい。



幼稚園の弁当給食試食会（4月25日）

生涯学習課

## あだたら健康マラソン大会

**問** 実施の方向性は。

**答** 令和7年度から小学校の学校行事ではなくなることから、村民の参加者が少なくなる見込みである。広く村民が参加できる事業となるように内容を検討していきたい。



健康福祉課

带状疱疹ワクチン

**問** 新年度から導入される接種の対象年齢と補助内容は。

**答** 定期接種は、①令和7年度中に65歳になる方、7年度から5年間の経過措置として、その年度に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方、7年度に限り100歳以上の方、②60歳から64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方が対象である。不活化ワクチンで70000円の2回分、生ワクチンで30000円の1回分が自己負担額である。

任意接種は、50歳から64歳の定期接種の対象とならない方に不活化ワクチンで1万円の2回分、生ワクチンで50000円の1回分を助成する。

住民生活課

高齢者健康管理事業

**問** 60歳以上を対象に行われている日帰りと宿泊の事業は。

**答** 日帰りはアットホームおおたま、きがる湯、光雲閣、パラダイスヒルズホテル、水林亭で1人当たり10000円の補助を行っている。アットホームおおたまは1人から、ほかの施設は3人以上の利用が対象となる。宿泊は大玉カントリークラブ、花見屋、マウント磐梯、芦ノ牧プリンスホテル、水林亭で1人当たり30000円の補助を行っている。



高齢者の健康増進の場

住民票などのコンビニ交付

**問** コンビニで交付可能な証明書は。

**答** 住民票、印鑑証明書、税関係証明書が取得できる予定である。取得にはマイナンバーカードが必要となる。今後、各種機関等との調整や導入試験を経て開始する。

産業課

村産ブランド米

**問** 新年度の取り組みは。

**答** 高い基準を設けた村産ブランド米（フラグシップ米）の作付け・販売を予定している。発表会やさまざまな媒体を活用した大規模なPRを行い、大玉産米全体の底上げに向け取り組んでいきたい。ブランド米はふるさと納税や贈答用、村内飲食店での提供を計画している。

空き店舗を活用した創業者支援

**問** 空き店舗を活用した創業者支援は。

**答** 村内の空き店舗を活用し、創業する人に改修費の2分の1で250万円を上限に補助をしていく。商工会や村ホームページ等で周知する予定である。

## 遠藤ヶ滝遊歩道の復旧

**問** 令和4年の大雨により3つの橋が流され、遊歩道が寸断されている。復旧の見込みは。

**答** 令和7年度は2番目の橋を復旧し、残りの2橋は8年度、9年度の復旧を目指している。



第2橋梁の現況

## 危険な空き家の除却

**問** 周辺の生活環境に悪影響を及ぼし、老朽化による倒壊などの危険がある空き家の除却の補助は。

**答** 居住の実態がなく、老朽度合いが高い空き家の除却に費用の半額（上限額50万円）を補助する。

## 予算審査特別委員会の審査意見

### 総務部



① 大玉村合併70周年、マチュピチュ村との友好都市締結10周年、日本で最も美しい村連合加盟10周年、大玉中学校統合50周年などの記念すべき年となることから、新たな出発点として村民が実感できる記念事業に取り組まれない。

### 教育部

① 登校できない小中学生への対応について、学びの多様化に配慮し、充実したサポートを継続するとともに、家庭と学校が連携し、子どもと向き合う時間の確保を図り、子どもと保護者が前に踏み出せるよう寄り添われたい。

② あだたら健康マラソンについて、多くの村民が参加できる事業となるよう検討を図られたい。

### 住民福祉部

① 村民の健康づくりについて、現在行われている事業の周知に取り組み、利用者の拡大を図りたい。特に元気づくりシステムについては効果の検証を進め、さらなる推進に努められたい。

② 高齢期を安心して暮らすための支援をさらに充実させるとともに、誰もがなりうる認知症について理解を深めるための取り組みを進められたい。

③ 住民票などのコンビニ交付については、村民への丁寧な周知を図り、利便性向上に努められたい。

### 産業建設部

① 農業支援について、これまでの支援策の継続と充実を図り、米のブランド化や地域まるっと中間管理など、将来を見据えた農業支援の取り組みを進められたい。また、農業振興公社の果たす役割は大きく、関係機関との連携を密にし、さらなる事業展開に取り組まれたい。

② スマートインターチェンジの事業化に向けての取り組みを進めるとともに、立地適正化計画に基づく地域の利活用に取り組まれたい。

③ 管水路の老朽化が進んでいる。施設の安全点検を進めるとともに、改修に向け計画的に進められたい。

# 討論

議案第27号 アットホームおおたま及びあだたらの里おおたま観光レクリエーション施設における指定管理者の指定については討論が行われました。

※討論とは、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を述べることです。

## 反対



松本 昇 議員

### 議案第27号に反対する

おおたま村づくり株式会社を経営管理をお願いしてから、本来あるべき健康福祉の理念を大きく逸脱し、宿泊、食堂の閉鎖などを踏まえると、指定管理委託料等、村にとって大きな負担となっている。また、従業員の横領問題が発生し、その責任の取り方、採用にあたり履歴書の提出や採用の仕方、あだたらの里おおたま観光レクリエーション施設の管理ができていないと思われる。おおたま村づくり株式会社社長の社長が昨年のコンサルタントとの話し合いに出席した際、わずか15分程度で途中退席をしたようである。そのような会社に運営を任せられないと思う。経営が赤字になれば、村でお金を出す。経営努力が足りないからであり、おおたま村づくり株式会社への再指定に反対とする。

## 賛成



館下 憲一 議員

### 指定管理を継続すべき

村直営では柔軟な対応が難しいため、村内唯一の民営である「おおたま村づくり株式会社」に管理運営を委託し、サービス向上に鋭意努力している。株式会社の問題は、会社として法令や規則を遵守させるための管理体制を作り、法令や企業倫理、企業規則を遵守し、組織が抱えるリスクを把握して損失を回避、低減するための対策を講じる経営管理手法により行うことが重要である。おおたま村づくり株式会社から改善策が筆頭株主の村に提出された。再発することが無いよう指導されている。よって、引き続き指定管理を認めるべきと考え、本議案に賛成とする。

### 令和7年3月定例会採決一覧

○賛成 ×反対

※議長(押山義則)は採決に加わらない。

議案番号	議案名	館下 憲一	渡邊 初治	菅原 貴子	渡邊 啓子	齋藤 信一	松本 昇	本多 保夫	佐原佐百合	鈴木 康広	須藤 重蔵	武田 悦子	結果 (賛成:反対)
議案第27号	アットホームおおたま及びあだたらの里おおたま観光レクリエーション施設における指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	可決(8:3)

### 令和6年度 3月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	7,168万円	54億7,594万円
国民健康保険特別会計	594万円	8億9,107万円
土地取得特別会計	—	1,788万円
介護保険特別会計	—	9億2,878万円
後期高齢者医療特別会計	850万円	9,675万円

※議案第1号 令和6年度大玉村一般会計補正予算の専決処分 5,581万円  
 ※土地取得特別会計は、繰入金等の歳入予算額を調整し、予算総額は増減なし。  
 ※介護保険特別会計は、予備費等の歳出予算額を調整し、予算総額は増減なし。

## 人事案件

### 教育長の任命の同意

現職の渡辺敏弘氏(郡山市安積町)の再任について同意した。任期は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間。

### 固定資産評価審査委員の選任

現職の武田好廣氏(玉井字中田)の再任について同意した。任期は、令和7年6月21日から令和10年6月20日までの3年間。



## 3月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	令和6年度大玉村一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて(1月専決)	原案可決
議案第2号	大玉村企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決
議案第3号	大玉村水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	原案可決
議案第4号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第5号	大玉村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	大玉村企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	英語指導を行う外国青年の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	大玉村部設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	大玉村情報公開等審査会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	大玉村青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	大玉村子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	大玉村健康づくり推進協議会設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	大玉村上下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第19号	大玉村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第20号	大玉村議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第21号	大玉村個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第22号	大玉村行政不服審査会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第23号	大玉村議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第24号	大玉村ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第25号	大玉村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第26号	大玉村水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第27号	アットホームおおたま及びあだたらの里おおたま観光レクリエーション施設における指定管理者の指定について	原案可決
議案第28号	令和6年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第29号	令和6年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第30号	令和6年度大玉村土地取得特別会計補正予算について	原案可決
議案第31号	令和6年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第32号	令和6年度大玉村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第33号	令和7年度大玉村一般会計予算について	原案可決
議案第34号	令和7年度大玉村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第35号	令和7年度大玉村玉井財産区特別会計予算について	原案可決
議案第36号	令和7年度大玉村土地取得特別会計予算について	原案可決
議案第37号	令和7年度大玉村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第38号	令和7年度大玉村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第39号	令和7年度大玉村水道事業会計予算について	原案可決
議案第40号	令和7年度大玉村農業集落排水事業会計予算について	原案可決
議案第41号	大玉村教育委員会教育長の任命について	同 意
議案第42号	大玉村固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同 意
議案第43号	区長及び区長代理の委嘱について	同 意
議案第44号	大玉村農業サポートセンターにおける指定管理者の指定について	原案可決
議員発議第1号	大玉村議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
議員発議第2号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について	原案可決
議員発議第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	原案可決

### 3月定例会に提出された請願

件名	提出者	紹介議員	付託委員会	審査結果
国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願	大玉村大山字南小屋 新日本婦人の会大玉支部 支部長 三瓶 和子	須藤 軍蔵	産業厚生	採択
国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	大玉村大山字南小屋 新日本婦人の会大玉支部 支部長 三瓶 和子	武田 悦子	総務文教	継続審査

### 3月定例会に提出された陳情

件名	提出者	付託委員会	審査結果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	産業厚生	採択

### 議員発議 意見書2件を提出

意見書	提出先
選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について	内閣総理大臣、法務大臣、内閣府特命担当大臣(こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画、共生・共助)、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長



3月定例会では、3月6日に6人、7日に2人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に11ページから18ページです。

さいとう 斎藤 信一	1. 幼稚園での給食提供を求める 2. 商工業の発展に向けて	11ページ
たけだ 武田 悦子	1. 村民の暮らしを支える取り組みの充実を 2. 子どもたちの健やかな成長のために	12ページ
わたなべ 渡邊 啓子	1. 高齢者の居場所づくりを 2. 通学路のさらなる安全・安心を	13ページ
すずき 鈴木 康広	1. 生活道路の維持を 2. 集落支援員の配置を	14ページ
すどう 須藤 軍蔵	1. 東京農業大学との連携協定の目的は 2. 地域計画から見る農業振興は	15ページ
たてした 舘下 憲一	1. 除雪対策は万全か 2. 未来の食卓を守るために	16ページ
さわら 佐原 百合	1. (仮称)子育て支援センターの進捗状況と今後の計画は 2. 村の予算書の概要版を	17ページ
すがはら 菅原 貴子	1. 水道施設の耐震性向上の現状と更新計画は 2. 自治体DXの取り組みの進捗状況は	18ページ

※一般質問…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずること。大玉村議会の一般質問は一人30分以内で、答弁時間は含まない。

一
般
質
問

ここが聞きたい！  
 8人の議員が登壇

# 幼稚園での給食提供を求める

## 質問趣旨

幼少期の食育は、子どもの健康、成長、社会性、そして将来の食習慣に大きく関わってくる。

さいとうしんいち  
齋藤信一 議員



**齋藤** 幼少期の食育の重要性を伺う。  
**教育総務課長** 健康な心と体を育てるためには、保護者と協力して食習慣を形成することが大切であると考えている。  
**齋藤** 幼稚園児の食事の実情を伺う。  
**教育総務課長** 保護者アンケートや面談を実施し、昼食時の園児を観察し、実情を捉えている。弁当に関しては、量や栄養のバランスなどに課題がある家庭も

ある。保護者と協力して一人一人の育ちを大切にしたい食育を充実していく必要がある。  
**齋藤** 幼稚園での給食実施の考えは。  
**教育長** 10月の開始をめどに保護者の意見を聞きながら弁当給食の実施を検討していきたい。費用の半額補助も併せて検討していききたい。



幼稚園の弁当給食試食会（4月25日）

**齋藤** 村と商工会の連携強化は。  
**産業建設部長** 商工会運営懇談会で要望や意見交換を行っているほか、創業支援の相談や物価、燃料高騰等への支援策などの協議、検討を行ってきた。今後、定期的な協議を行い、さらに連携を強化し、村内事業者の支援に生かしていきたい。  
**齋藤** 創業者や事業承継者への支援策の拡充は。  
**産業建設部長** 物価や資材の高騰で創業時の初期費用が多額になることが不安として挙げられる。商業の振興、空き店舗等の利活用が継続した推進を図ることが重要であり、令和7年度から奨励金制度

# 商工業の発展に向けて

## 質問趣旨

中小・小規模企業は地域経済の基盤を支え、地域の将来に重要な存在である。

や改修工事等の経費に対する補助制度の実施に向けて準備を進めている。  
**齋藤** 中小・小規模企業振興条例制定の考えは。

**産業建設部長** 中小・小規模企業が地域経済に果たす役割は、将来にわたり持続的な村の発展という観点からも極めて重要である。条例の制定に向けて準備を進めている。



商工会主催の創業支援セミナー

他に次の質問がありました。

- ・ 村の除雪対策は
- ・ 中学生はスクールバスを利用できないか

# 村民の暮らしを支える 取り組みの充実を

## 質問趣旨

村民が日々生活していくためには、行政の支援が欠かせない。取り組みのさらなる充実を求める。



**武田** 大雪の除雪から見えてきた課題は。

**産業建設部長** オペレーターや除雪

機械などには限りがあり、断続的な降雪や積雪量により一部地域で遅れが生じた。また、高齢者世帯の玄関先から公道までの除雪や除雪した雪が出入り口に残り困るなどの声があり、除雪方法にも課題がある。

**武田** 自分では除雪が難しい世帯への支援として考えられるものは何か。また、除雪機械を持つ個人が地域で除雪活動を行うことはできないか。

**産業建設部長** 地域の中で共助としての活動ができれば、除雪に限らず他の自然災害に対して強い地域となる。個人所有の機械を使用した場合、作業中の

事故や財物を損壊した場合の補償、保険や作業に係る費用、また、どれだけの需要があるのか、制度設計をどうするかなど検討していきたい。

**武田** 介護保険の改定で訪問介護の報酬が引き下げられ、閉鎖する介護事業所が出ています。村が直接事業者を支援できないか。また担い手不足解消の支援をできないか。

**住民福祉部長** 事業所の状況を把握し検討していきたい。担い手不足の解消を図るため、資格取得費用の一部助成制度の導入も検討したい。

**教育総務課長** 週3回、午前中に大山公民館で開設されている。そのほかに中学校の教室を利用して行っている。

**武田** 学校に行くことが難しい子どもたちを対象に行われている適応指導教室の内容は。

**教育総務課長** 子どもがストレスを抱える子どももたくさんなっている。学校に行くことができない子どもが増えているが、村の状況は。

**教育総務課長** 子どもに担任が連絡を取りな



迅速で安全な除雪を

# 子どもたちの健やかな成長のために

## 質問趣旨

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化している。健やかな成長に必要な支援は何か。

**武田** ストレスを抱える子どももたくさんなっている。学校に行くことができない子どもが増えているが、村の状況は。

**教育総務課長** 1月現在で、両小学校20名、中学校17名と増加傾向にある。

**武田** 学校に行くことが難しい子どもたちを対象に行われている適応指導教室の内容は。

**教育総務課長** 週3回、午前中に大山公民館で開設されている。そのほかに中学校の教室を利用して行っている。

**武田** 学校に行けない子どもや保護者の不安にはどのように支援しているのか。

**教育総務課長** 子ども

がらつながりを作り、オンラインで授業を行うなどその子に応じた支援をしている。保護者には、スクールソーシャルワーカーなどの専門職につないで、保護者の不安解消や支援などに対応している。

**武田** 子どもたちが自身が発信できる環境づくりが大切だと思うが、村の状況は。

**教育長** 学級担任が中心となり子どもへの寄り添いながら支援を行っている。担任だけでなく、養護教諭をはじめとする相談窓口を設けて気軽に相談できる環境を作っている。また、子どもたちが使用できるタブレットで相談できる体制も試行している。

**教育長** 学級担任が中心となり子どもへの寄り添いながら支援を行っている。担任だけでなく、養護教諭をはじめとする相談窓口を設けて気軽に相談できる環境を作っている。また、子どもたちが使用できるタブレットで相談できる体制も試行している。



# 高齢者の居場所づくりを

## 質問趣旨

高齢者の介護予防や孤立防止のために、気軽に立ち寄れる居場所を大山地区に設置できないか。

わたなべけいこ  
渡邊啓子議員



**渡邊** 高齢者対象の事業や高齢者が集う場はどのようなものがあるか伺う。

**住民福祉部長** おおたま生き粋大学や頭と体の健康倶楽部、地区のサロン、老人クラブ、元気づくり会がある。温泉施設を利用した高齢者健康管理事業は、高齢者の集いの場として活用されている。

**渡邊** 「まちなかふれあい かよい路」のような場所を大山地区に求める声がある。東部ふれあいセンターや北部ふれあいセンターに高齢者が自由に集える日を設定できないか。

**住民福祉部長** 各ふれあいセンターでは定期的に利用するサロンや各種団体があり、調整が必要となるので年間の利用状況を見ながら検討していきたい。



誰もが集える、まちなかふれあい かよい路

# 通学路のさらなる安全・安心を

## 質問趣旨

中学生や高校生が暗い夜道を自転車や徒歩で帰宅するのは心配だ。防犯灯の増設が必要である。

**渡邊** 村内の防犯灯の数を伺う。

**住民生活課長** 防犯灯と街路灯を合わせ878基ある。内訳は村管理が610基、大山防犯協力が75基、玉井防犯協力が100基、2区防犯組合が29基、商工会が60基、寺久根地区の防犯組合が4基である。

**渡邊** 提出されている防犯灯設置の要望数は。

**住民生活課長** 区長から提出された要望では、大玉3区が3カ所、5区が1カ所、13区が2カ所、14区が1カ所、15区が2カ所の9カ所である。

**渡邊** 防犯灯が点灯している時間帯に村内を巡回したことはあるか。

**住民福祉部長** 担当課職員の定期的な夜間パトロールは実施していないが、大山と玉井両防犯協力が行う夜間パトロールや消防団の定期火防による巡回で確認していただいている。

**渡邊** 移住者が増えてくる大玉村の安全・安心の再確認を。

**村長** 子どもたちの通学路の安全・安心を最優先に考えなければいけない。内部で検討していきたい。



村民の安全・安心を守る防犯灯

# 生活道路の維持を

## 質問趣旨

交付金を活用した通学路の交通安全対策や凍上災害対策により道路の改良や補修を求める。



鈴木康広 議員

**鈴木** 通学路交通安全対策の交付金を活用した道路改良の実績はあるか。  
**建設課長** 平成30年4月に大山小学校管内の谷地・戸ノ内線の谷地地内から新田地内までの延長690・5m、令和7年1月に玉井小学校管内の細田・矢沢線の細田地内の延長155mの歩道設置を行った。



ひび割れが進む道路

**産業建設部長** 大玉村通学路安全推進会議で危険と思われる箇所を合同点検や対策を検討している。令和6年度は小中学校から4件の要望がある。国の交付金が定める通学路安全対策に該当するか確認しながら活用を図りたい。  
**鈴木** 路面の凍上によりひび割れが発生している。国の支援策の活用は。  
**産業建設部長** その年の気象などから災害復旧事業に該当するかを国が決定する。4月以降に取り扱いが示されるので情報収集に努めていきたい。

# 集落支援員の配置を

## 質問趣旨

村内には、高齢化や人口減少で集落の維持が困難な地域があり、支援を求める。

**鈴木** 集落支援員の業務は。また配置の実績はあるか。

**総務部長** 集落の維持活性化を図るために、地域の実情に詳しい人材が、地域の巡回や状況の把握などを通して地域運営組織のサポートを行う。村では配置の実績はない。

**鈴木** JAの職員が集落支援員になることが可能になったと報道があった。村でも支援員を配置する考えは。

**総務部長** JAが携わるということは、村の判断だけでは難しいこともある。総務省の特別交付税措置もあるので、村に合うかも含めて配置を検討していきたい。



集落維持のための支援を

鈴木康広議員は、令和七年五月十二日にご逝去されました。ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈りいたします。

# 東京農業大学との連携協定の目的は

## 質問趣旨

農家をはじめ多くの村民が関わることでより大きな効果が生まれるのではないかと。

須藤軍蔵議員



**須藤** 協定の最大のねらいと主な連携事項は。

**産業建設部長** 人、もの、情報の交流が活性化し、その効果がさまざまな分野に波及することを期待している。連携事項は地域経済、農業振興、農産物の販路拡大、調査研究での交流、東日本大震災からの復興と風評払拭、農業実習等の現地実証などに関する事項である。

**須藤** 村民が関わることでより大きな効果が期待できるのではないかと。その取り組みは。

**産業建設部長** 村内農家に実習の受け入れの協力を依頼することや村内農産物を活用した6次化商品の開発などを計画している。取り組みについては、関係者だけでなく、村民にも周知していきたい。

**須藤** 協定の期間と期待される効果は。

**産業建設部長** 協定の期間は5年間で延長も可能である。農産物の生産活動分野をはじめ6次化商品の開発支援や販路拡大、情報発信などを通して、村の認知度の向上や関係人口の創出を図り、村内生産者の意欲向上や収益向上につなげていきたい。



東京農業大学との連携に関する協定式（11月25日）

# 地域計画から見る農業振興は

## 質問趣旨

農業は課題が山積みだが、一つでも前進の方向を見出したい。

**須藤** 地域計画は村を3つのエリアに分けているが、その地域は。

**産業建設部長** 中山間地域等直接支払交付金を受けている中山間地域、1区から4区及び5区の一部までの玉井地区と大山地区である。

**須藤** それぞれの地域をどのように描くのか。

**産業建設部長** 中山間地域では交付金の対象となる農地の集落戦略を基に策定した。玉井・大山地区とも将来にわたって担い手による集約を進め、農地の集積と基盤整備を目指していく。さらに大山地区ではスマートインターチェンジに関連した開発構想との調整を図った。

**須藤** 農業の状況を少しでも前進させるために、取り組むことは。

**産業建設部長** 農地の集約と有効活用を誰がやるのかだけでなく、誰がどのように進めるかが重要となる。令和7年度は地域ぐるみで農地の集約管理を進め、担い手の円滑な農地利用を促したい。また、「地域まるっと中間管理方式」の手法の勉強会を開催したい。

**須藤** 全国で人口が減り、特に中山間地域は著しい。中山間地域の活性化に向けた取り組みは。

**村長** 地球温暖化が進む中、中山間地域のメリットもある。個人では難しくても知識や技術のある方々が集団で取り組めるよう、地域の方たちと話し合いながら、村もサポートしていきたい。



持続可能な農業振興を

# 除雪対策は万全か

## 質問趣旨

連日降り続いた大雪の除雪対策や住民との共同除雪の現状は。



**館下** 村の除雪機械の貸出はできないか。

**産業建設部長** 作

業中の事故や構築物等の損壊などに対する補償をどう担保するかが課題である。体制や仕組み作りと合わせて引き続き検討していきたい。

**館下** 除雪に対応する業者の重機や人員の確保に課題があるなら、年間を通じた仕事づくりの取り組みが必要ではないか。



通行の安全を確保する除雪

**産業建設部長** 除雪や災害の対応等において、地元の建設業者の果たす役割は極めて大きい。道路の新設改良等が減少する中、歩道の縁石に堆積している土砂の撤去や除草などのきめ細かい仕事づくりも行っていくきたい。

# 未来の食卓を守るために

## 質問趣旨

米の生産量が消費量を下回ることが予想される。生産量を増やすために、集積や担い手の確保が必要ではないか。

**館下** 効率的に水の管理ができるように水路を中心とした農地の集積が必要ではないか。

**農業委員会事務局長**

大玉1区、2区、4区、12区、15区、16区の一部において、水路を縦軸に主要道路を横軸とした一部区画内で一定の集約が計画されている。

**館下** 水路の老朽化も水不足の要因となっている。計画的な改修が必要ではないか。

**産業建設部長** 村が所

有する用排水路は村内全域で約600メートルの延長であり、補助メニューがない中、計画的に整備・更新を図っていくのは難しい。今後の対策として、地区において水利施設の点検をし

ていたしながら、多面的機能支払交付金事業を活用し維持補修をしていきたい。

**館下** 規模拡大による

畦畔管理の作業軽減策を伺う。

**産業建設部長** 農業振

興公社でカバープランツや抑草シートなどの実証に取り組み、農家の皆さんに提供し、導入を推進していきたい。



米の生産量を増やすには



# (仮称)子育て支援センターの 進捗状況と今後の計画は

## 質問趣旨

利用する住民の意見を反映させることで、より利用しやすく、親しみやすい施設にするためには。

佐原 佐百合 議員



**佐原** 進捗状況と今後の計画は。

**総務部長** 昨年度から関係機関と協議を重ね、

1月に補助金の本要望調書を提出している。

3月下旬に国から予算内示、4月には事業採

択を目指している。補助金の交付決定後に、

7年度に建築実施設計や敷地造成設計等、8

年度に敷地造成工事、9年度に建築工事を発

注する予定である。オープン

は10年度を見込んでおり、進捗により工程の見直しもある。

**佐原** 実施設計の段階で利用する住民の意見を反映させる機会はあるか。

**総務部長** 受託業者の決定後、関係各課と共に実施方法を検討していきたい。

**佐原** スムーズな運営ができるように運営体制の準備を早めに取り

組む計画はあるか。

**総務部長** 施設の完成までには、順調に進んでも約3年かかる見込みである。その間に運営体制の検討を進め、

施設完成と同時に運営を開始できるように取り組んでいきたい。

基本構想策定時の第1回ワークショップ



基本構想策定時の第1回ワークショップ  
(令和4年8月23日)

# 村の予算書の概要版を

## 質問趣旨

行政の予算書は分かりにくい。村民が村政に関心を持てるように、事業や予算の分かりやすい資料が必要ではないか。

**佐原** 村の予算をどのように公表しているか。

**総務部長** 村広報紙を活用し、4月号では新たな事業や注目すべき

事業、5月号では予算の状況や人件費などを、

11月号では前年度決算の状況や財政指数などを公表している。

**佐原** 予算書を見ることのできる場所を伺う。

**総務部長** 役場総務課やふるさとホール、大山公民館の窓口で閲覧

できる。

**佐原** 本宮市など近隣自治体では、予算書とは別に、分かりやすい「予算の概要版」を作成している。村でもできないか。

**総務部長** 本宮市は、

総合計画に基づき年度ごとに重点事業の概要

を作成している。村でもできるか慎重に検討

していきたい。



菅原 水道管の破

産業建設部長 現在残

# 水道施設の耐震性向上の現状と更新計画は

## 質問趣旨

昭和56年に給水が始まり、44年が経過している水道施設の耐震化が急務となっている。



菅原 水道管の破裂などによる断水や濁り水が発生したことはあるか。また日常的な漏水等の点検はどのような方法で実施しているか。

環境保全課長 漏水による断水は過去5年間で16件、濁り水は2件である。日常的な漏水等の点検は水道施設緊急システムサービス業務委託により、24時間体制で対応している。

菅原 水道管の耐震化や更新の計画を伺う。

産業建設部長 現在残っている石綿セメント管の更新による耐震化と並行し、過去に漏水の多い路線の更新を進めていきたい。

菅原 石綿セメント管は通常の場合は健康上に問題はないとされているが、災害等で損傷した場合でも健康上の問題はないのか。

産業建設部長 厚生労働省の水質基準にはアスベストの設定はなく、災害等で石綿セメント管が損傷しても、健康上の問題が発生することとは考えていない。



水道管の更新工事

# 自治体DXの取り組みの進捗状況は

## 質問趣旨

自治体DXを研究する役場の若手職員のプロジェクトチームの成果は。

菅原 DX推進プロジェクトチームのテーマと開催数を伺う。また、ICTアドバイザーをどのように活用したか。

政策推進課長 「村が進めるべきDXの方向性」をテーマに令和6年8月から7年1月までの計7回開催した。ICTアドバイザーには初回の委員会への参加と職員研修会を3回実施していただいた。

菅原 既にDX化された児童手当申請などの利用状況は。

政策推進課長 16の事務でオンライン申請が可能であり、地方税の申告などの実績がある。児童手当申請などは、本人との面談や別途提出書類があるなどの事情からオンライン申請

が進んでいない。

菅原 利用の推進に向けた村民への広報活動はどのように行っているか。

政策推進課長 手続きを行う担当課からの説明や村広報紙等により、周知を行っているが、

今後オンライン申請が可能な事務の一覧表の配付など広報活動を工夫し、利用促進を図られるよう検討していきたい。



スマホで行政手続きを

# 村民と議会の懇談会

日時 2月12日(水)午前10時 午後6時30分

会場 大玉村農村環境改善センター

テーマ 「これからの村づくりを考える」

- 1 みんなで応援 安心して子育てできる村
- 2 みんなで守る 地域の道路
- 3 その他

午前の部は9名、午後の部は12名の方々に参加いただきました。

議会は、昨年4月の懇談会の意見を議論し、提言にまとめ6月定例会において村に提出しました。懇談会では、はじめに村に提出した提言が施策にどう反映されたかについて報告しました。次に、3つのグループに分かれて、テーマの話し合いが行われ、いろいろな視点から意見が交わされました。

懇談会の意見は議会で議論し、議会活動に生かしていきます。



## みんなで応援 安心して子育てできる村

### 交流の場・施設

子どもからシニア世代がいつでも誰でも自由に集まれる施設や公園があれば、みんなで子育てに関わり、情報交換ができる場になるのでは。

親同士が情報交換できる場が少ない。

「まちなか ふれあい かよい路」のような施設が他の地区にもほしい。

### 将来の大玉村

近隣の自治体に空洞化している新興住宅地がある。子どもたちが村から出て行ってしまったらどうなるか。地元に残る、戻ってくるような魅力づくりや地域のリーダー育成が必要であり、今、種を蒔き、未来の芽を育てていく時期である。

### 議会にひとこと

子ども食堂について議会で話し合われているのか。軽食などの提供を村内の飲食店でできないか。

## みんなで守る 地域の道路

### 道路

スマートICができれば交通量が増え、事故の心配や道路の劣化だけでなく、ごみも増えるのではないかと。

住宅開発に伴う道路整備は地域住民の声を聞きながら進めてほしい。

### 除雪

村でホイールローダーやバックホーを借り上げて、貸し出しできる仕組みを作るなど新たな除雪体制づくりが必要であり、高齢者などの世帯の除雪を行う組織を作れないか。

## その他

道路にごみを捨てないように注意喚起の看板を子どもたちに作成してもらい、設置してはどうか。

農作業が近隣住民とのトラブルの原因にもなり、農業がやりにくくなっている。農業を理解してもらうことも必要ではないか。





表紙は、松井さんご家族です。松井さんご家族は、剛裕さんと庸子さんご夫妻、この春に専門学校を卒業して社会人1年生の美咲さん、玉井小学校1年生の昴翔瑠くんの4人と4匹の猫です。猫の名前は、みるく、あんこ、きなこ、おもちです。明るく活動的な松井家の皆さんに、大好きなキャンプの話や子育てを支えてくれたご両親やおばあちゃんのことなどを伺いました。

小学1年生、社会人1年生に聞く。がんばりたいこと。

昴翔瑠くん 勉強をがんばる！

美咲さん まずは、仕事に慣れることです。中学生の頃から興味があった動画編集の仕事に就くことができたので、がんばります。

子育てを通しての

家族のつながり

剛裕さん 共働きなので、私と妻の両親や今年102歳で亡くなった妻の大祖母（おおば）に子育てを助けてもらいました。



庸子さん

昴翔瑠は、おおばとおしゃべりが大好きで、好きなキャラクターの話をよく聞いています。おおばは、キャラクター

の名前を覚えるまで何回も聞き返していました。おおばがいつも昴翔瑠の話をよく聞いてくれたおかげで、誰とでも話せる子に育ちました。



家族が大好きな

キャンプ

剛裕さん コロナ禍に妻に勧められたけど、「絶対に行かない」と言っていたんですが、すっかりハマりました。自然の中での遊び、たき火、早起きしたからこそ見られる朝の景色など普段できない体験があまり多いです。



広報委員のひとこと

昨年は神奈川県山北町議会で研修をしました。よいと思ったことを取り入れてみるのが、研修の成果です。山北町議会の議会だよりには、議員の議会以外の活動や日常の写真が載っています。議会をより身近に感じてもらえるように、今号から議会以外の日常の議員を紹介します。トッパッターの私の写真は、豆腐づくりです。



渡邊 初治

編集 議会広報編集特別委員会

- 委員長 渡邊 初治
  - 副委員長 佐原 百合
  - 委員 館下 憲一
  - 委員 菅原 貴子
  - 委員 鈴木 康広
  - 委員 武田 悦子
- 発行 大玉村議会 議長 押山 義則  
 福島県安達郡大玉村玉井字屋内70  
 TEL0243-2418103  
 FAX0243-4813137